

■■■■■■火の島と水の島■■■■■■

屋久島町議会だより

令和7年(2025年)9月10日 NO.71



町民の声カウンター

44

令和3年10月～
議会だより宛てに届いた意見数

第2回定例会

一般質問 8人が町政をたず

全員協議会

「安房小学校プール改装工事取り止め」など

種子島屋久島議員大会

.. P2

.. P6

.. P11

.. P13

令和7年第2回定例会

6月9日～20日

本定例会には、補正予算案7件、契約案2件、その他の案件1件、条例案8件、同意案1件、報告4件、請願2件が提案され、審議しました。

6月9日(月)	開会
6月10日(火)	一般質問：渡邊浩、相良健一郎、中馬慎一郎、渡邊博之
6月11日(火)	一般質問：小脇淳智郎、大角利成、榎光徳、真辺真紀
6月12日(木)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
6月20日(金)	最終本会議

総括質疑

志戸子ガジュマル公園 入園料無料に

令和7年度をもって 入園料の徴収を終了

志戸子ガジュマル公園条例の一部改正について、条例案の改正を入園料無料となっている。条例の中には、開園時間、入園時間などもうたわれているが、その辺の改正は同時にされないのか。



中馬 慎一郎

観光まちづくり課 入場者の増を図りたいということで提案している。時間の変更については、清掃活動などは区のほうに、また委託を例年どおりしていきたいと思っているので、区と協議をして、時間のほうはまた、変更等の要望があれば検討したい。

※志戸子ガジュマル公園は令和3年度から志戸子区を指定管理者として運営の改善を目指してきたが、入園料収入だけでは人件費を賄うことができない状況にあり、令和8年度からは入園料の徴収を廃止し、入園料の徴収事務を廃止することとなった。

漁村センター 一湊区を指定管理者に

今まで一般質問等で幾度となく議論をし、解決策を先延ばしされてきた案件。浄化槽、トイレが使用できないということで、浄化槽の修繕だけでも2000万円ぐらひはかかると。ほか、給排水、建具等を含めると、さらに数千万円かかるとの説明でこの件については先延ばしをされてきた。今回、浄化槽、その他の必要最低限の改修が終わったので、一湊区に指定管理者を任せてもよいということで議案として出しているのか。



高橋 義友

産業振興課 このたび浄化槽を再度確認したところ、軽微な補修という形でかろうじて使えるということで、浄化槽の事業者のから説明を受けた。あと、トイレの一部改修や、水道が通常どおり使える状況、そういった最低限のものを整備して、今回使える形とした。一湊区から4月に、この施設を使わせてほしいという要望を受けて、地域コミュニティーの場、ダイビングや漁業など、産業振興の場とすることで地域に寄与することが期待できることから一湊区を指定管理者としたい。

採決一覧

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹
財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
固定資産評価員の選任	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
漁村センターの指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
行政組織条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
志戸子ガジュマル公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業に関する布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の全部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度上水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度船舶事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議会議員及び屋久島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
電気事業供給条例の一部改正	可欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引上げ、複式学級解消をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

総務文教常任委員会

委員長 榎光徳 副委員長 小脇淳智郎
委員 大角利成 渡邊博之 高橋義友
岩山鶴美 中馬慎一郎 渡邊浩

育英奨学資金の返納

大角利成 育英奨学資金積立金が計上されているが、現状、奨学資金の返納事務はどのような状況か。

教育総務課 奨学資金について滞納事務に力を入れていることもあり、若干残っている分については、かなり以前の分で、最近についてはほとんど残っていない状況である。

尾之間図書室の空調

大角利成 公民館費の尾之間図書室の空調が計上されているが、入札の結果はどうであったのか。

社会教育課 2階の空調部分については、入札執行が終わり契約を交わしている。ただ、受注生産となることから、納入が10月頃になる見込み。

テニスコート工事

中馬慎一郎 健康の森公園テニスコートの工事請負費の内容は。

教育総務課 健康の森公園のテニスコートの照明施設修繕料の増額については照明施設の修繕ではなく、以前から不点灯であった照明施設を修繕するために、高所作業車が入れない現状。フェンスの一部を撤去して扉に変えることで、高所作業車を乗り入れた作業ができるように、今回改修をしようという修繕費140万円となっている。照明は5か所が故障中である。

移動博物館

中馬慎一郎 移動博物館の参加補助金の内容は。

社会教育課 10月15日から19日に、県立博物館の「移動博物館がやってきたIN屋久島」として、安房の体育館で5日間展示が行われる。15、16、17日の平日を小中学校の見学に充て、一般の方は18、19日に公開する予定。島内の小中学校については、バスの借り上げで見学に行けるように支援をするが、金岳小中の子たちについては、移動に伴う宿泊、船賃まで、補助金という形で支出をして、参加してもらおうという参加補助金に組み替えるものになる。

各公民館設置のAED

高橋義友 今回、各地区公民館のAEDを入れ替えを行ったが、単価はいくらか。

教育総務課 AEDの入札執行結果になるが、契約金額が929万5000円。これが26館分になるので、1館当たり1セット35万7500円という金額になる。内容としては、本体1台、ステンレスの収納庫とバッテリー、電極パッド、救急セット、あと耐用年数期間中に、パッドは4回交換、バッテリーについては46か月後に1回、全ての公民館のAEDについて交換をする。それを全て含め35万7500円という単価になる。

産業厚生常任委員会

委員長 緒方健太 副委員長 内田正喜
委員 石田尾茂樹 岩川俊広 日高好作
渡邊千護 相良健一郎 真辺真紀

漁村センターの指定管理

石田尾茂樹 使用できる状態にするには、相当な必要最低限の補修改修費がかかるが、それを一湊区が負担しなければならない。町の公有財産であり、町が町の責任で使用可能な状態にすべきではないか。

産業振興課 今後、協定でリスク分担を協議していく。大がかりな施設改修については、当然町でするべきと思っている。

一湊漁村センター・・・一湊漁港に隣接する施設。漁村センターを一湊区を指定管理者として指定する。

理由：本施設が所在する集落の住民で構成される団体であるため、施設の効用を最大限発揮でき、管理経費の削減や町民との協同、地域コミュニティの醸成、町民活動の促進が図れる団体であること。

志戸子ガジュマル公園 指定管理の廃止

日高好作 区ともしっかり協議した中でこのような提案をしているという理解でよろしいか。

観光まちづくり課 志戸子区とは協議も終わっている。

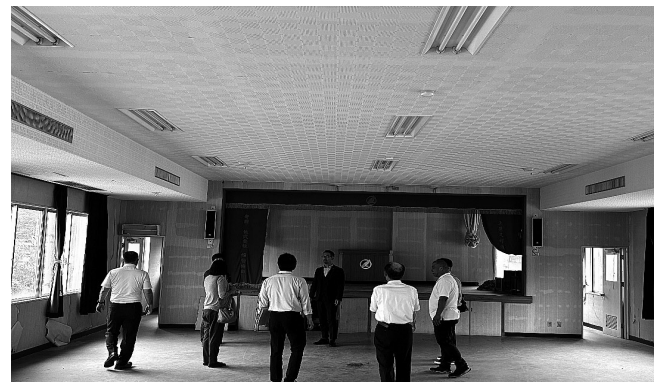


令和8年度から入場が無料になる
志戸子ガジュマル公園

常任委員会現地視察 6/9



一湊漁村センター外観



一湊漁村センター 2階ホール

診療所の夜間診療体制

真辺真紀 栗生診療所の看護師が6月末まで退職して7月1日から新しく雇用されるとのことだが、夜間の診療体制はどうか。現在は2人のため夜間は一切やっていないが今後も続くのか。

健康長寿課 新しい医師の体制になってとりあえず慣れるまでは現在の状況で続けたい。慣れてくれば、夜間診療や急患対応もやっていきたいという意味があるため、前向きにやっていく方向でいる。

一般質問

16人中 8人が一般質問しました

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。

一人の議員に与えられる制限時間は 60 分です。
(議員本人の責任において掲載しています。)

動画でチェック

一般質問の様子を、動画で観ることができます。
下の表に表示されている QR コードを読み込むか、YouTube で「屋久島町議会」と検索してください。

渡邊浩 (わたなべひろし)	P
1. 婚活事業	6
2. ふるさとの絆をつなぐ広報施策の検討	
相良健一郎 (さがらけんいちろう)	
1. 町道・農道の管理	7
2. ふるさと納税の返礼品	
中馬慎一郎 (ちゅうまんしんいちろう)	
1. 地域防災計画	7
2. 年後見制度への見解	
3. 屋久島山岳部環境保全協力金制度の見直し	
渡邊博之 (わたなべひろゆき)	
1. 航路問題	8
2. 補聴器購入支援	
3. 新しい作物の探求	
4. 過疎問題	
小脇淳智郎 (こわきじゅんしろう)	
1. 屋久島町の 1 歳半児・3 歳児の虫歯保有率	8
2. 歯科検診	
3. フッ素洗口	
大角利成 (おおすみとしなり)	
1. 小中学校の施設整備	9
2. 図書室の充実	
榎光徳 (えのきみつなり)	
1. 本町における現時点での課題解決策	9
真辺真紀 (まなべまき)	
1. スクールバス	10
2. 補助金不正請求事件のその後の対応	

婚活事業



渡邊 浩 議員

問 令和 7 年度の事業計画の中においても、人口減少対策の一環として、引き続き、婚活事業が盛り込まれている。具体的には、男女の出会い

の機会を創出するイベントの実施が計画されていると承知しているが、今年度における当該事業の実施時期やイベントはいかがか。

答 島内外の 20 歳から 45 歳の方を対象に、町内でイベントを実施する計画とし、現在、受託事業者を公募型プロポーザル方式で募集をしているところ。

問 対象年齢が 20 歳から 45 歳という年齢制限を設ける目的は。

答 年齢制限を設けるのは、まず、この事業を若者の出会いの場として、出会いの場の創出のために設定していることが主な目的で、この年齢設定をしている。また、去年については、受託事業者のこれまでの知見を参考にしながら、年齢設定をさせていただいた。

問 住民から色々声を聞く中で、第二の人生をこの屋久島で過ごしたいと、自然豊かなところで子供を通わせたい、そういった方々の声を聞いたときに、シニア層、中高年層、例えば、私のように 57 歳で離婚歴があるが、将来を支え合うパートナー、そういった方と出会いを求めたいという声があるが、そういった方々のために何か企画はないか。

答 現在のところ、課のほうで、シニア層を対象とした婚活イベントは計画はしていない。ただ、そういう御要望があれば、それはまた話を聞かせていただきたい。

ふるさとの絆をつなぐ広報施策の検討

問 本町には、関東屋久島会や近畿屋久島会を始めとする、故郷屋久島を離れて暮らす出郷者による親睦団体が、ふるさとの絆を大切にしながら活動が続けている。近年では、会員の高齢化が進むとともに、新規会員の獲得が困難だという課題を耳にしている。町報やくしまや公式ホームページ等の広報媒体において、こうした出郷者団体の活動情報を掲載することは可能か。

答 紙面の枠の関係があるので、早めに掲載依頼をいただければ、出郷者に関する情報も引き続き掲載をしていきたい。



相良健一郎 議員

町道・農道の維持管理

答 町道及び農道の維持管理等については、建設課土木係を中心に行なっている。

各集落区長や住民の情報や要望については、軽微的な作業は、対応している。即時対応が不可能な場合は、適切な事務続きを踏まえて、補修工事等で対応している。

町道・農道の危険箇所へのガードレール

答 危険性の高い箇所などを中心に道路施設の状況をよく把握し、緊急性、優先度をしっかりと判断し道路を使用する町民等の安全性の向上に努める。(古いガードレールの点検も早急に行う。)



ガードレール設置が必要な道路

ふるさと納税の返礼品

問 ふるさと納税の返礼品に「屋久島オリジナル箱」を出品できないか。個人事業の小物(多種)をまとめて出品できないか。

答 円滑に複数の出品者を取りまとめるには、どのような事業形態があるか。他自治体の状況等を把握し、商工会や観光協会を通じ、声掛けをしたい。(町内には、魅力ある地場産品がまだ多くある。ふるさと納税をきっかけに屋久島の産品を知っていただくように周知する。)



中馬慎一郎 議員

地域防災計画

問 国が示す南海トラフ臨時情報の避難指示と町の避難行動指針の整合性は取れているか。

答 政府が示す詳細な情報を持って判断する。まずは本庁で情報連絡体制の設置を行い各課に支持を行っていく。また、要支援者個別計については、昨年度完成し、避難行動の際は時間を要するために避難訓練などを行っていきたい。

問 激甚災害時の復旧体制や孤立対策について見解は。

答 災害の規模によっては、島内在住の建築士の方々にも被害調査の応援を貰うことが必要と考える。今後もインフラ整備などを推進していく。

成年後見制度の利用促進のための支援事業計画策定の必要性

問 成年後見制度利用促進のための支援事業計画を、町が策定していくべきではないか。

答 令和7年度で支援事業計画を作成し、利用者負担を助成する補助事業や町民後見育成などを他市町村を習って実施していく。

屋久島山岳部環境保全協力金制度の見直し

問 十年経過した協力金制度であるが、現状の管理体制や不足する財源確保に、これまでの課題を検証し見直す時期に来ているのではないか。

答 協力金の納入場所や納入方法等を改善する点がないか、見直しや検討を行っている状況である。また、大株歩道の特定自然観光資源指定への協議が進む中で、立ち入るための事前講習事項の必須化や立入申請システムの構築などが検討されており、これらの経費負担も考慮した、指定後の協力金の金額や在り方についても検討する必要があると考えている。

問 観光インフラ整備やインバウンド対策に必要な財源確保の見解は。

答 宿泊税、入島税などは慎重に考える必要がある。まずは協力金制度に補填する町の財源負担を減らすべく、協力金制度の見直しをしながら、国への財政支援の要望を続けていく。



航路問題

問 「新船を造る余裕はない」「企業が赤字の事業に参入することはない」。フェリー屋久島2

の後継船について発信している鹿児島商船の岩崎社長に、業界こそ町が運営する「公社化」を望んでいるのではないかと。そうであれば町と業界が協力して町営船と高速船が共存できる「サービス基準」の見直しなどの環境整備を国に求める展望が見えてくる。よってその真意をお聞きしたいとする内容の手紙を書いたが返事はなかった。3月議会後、「ポストフェリー屋久島2」の動きに進展はないか。

答 報告できる情報はない。時間的にはあと1年の間には結論を出さなければならないと考えている。進展がない要因は財政力に不安があることと業界内の「不協和」にあると見ている。引き続き国の指導と支援を求めていく。

過疎（人口減少）に抗う政治を

問 「人口減少と地域社会・地方政治」の講演で、1、以前「限界集落」説があったが、ほとんどが消滅せずに存続している。集落の助け合いと行政の努力が存続を維持している。2、過疎の根底には東京・大都市一極集中の政治がありこれまでの地方創生名目の手立てはほとんど功を奏していない。3、人口減少歯止めの要は少子化対策にある。非正規雇用の拡大が少子化の大きな一因になっている。4、少子化が著しいのは東京である。5、物資生産は地方であって東京ではない。地方を大事にする政治を。6、少子化進行の原因は国の誤った政治にある。7、今大事なことは出生率2%を具体的目標に未来への明るい展望を示すあきらめない気持ちであり支えあい助け合いの「お互いさま」の社会秩序こそが再生の要であると語っていた。「過疎に抗う政治意識」が大事と思うが町長の認識をお聞きしたい。

答 島の未来を左右する重大問題と認識の下、総合戦略推進本部の強力なリーダーシップによる「人口減少に歯止め」と「人口減少に合わせる」をコンセプトに具体策を進めたい。



1歳半、3歳児の虫歯保有率

問 屋久島町の1歳半児及び3歳児の罹患率はどうなっているか。

答 本町の令和4年度の虫歯有病者率は1歳6か月児が1.39%、県内43市町村中35位、3歳児が24.19%で43市町村中39位と、県内では下位に位置している。鹿児島県の1歳6か月児が全国47都道府県中26位で、3歳児が35位という状況を勘案すれば、本町の子供の虫歯有病率は全国的にみても悪い状況にあると言える。

問 他の地域は予防に力を入れて、私たち歯科医としては治療に力を入れすぎて、予防を全然してこなかったことを自分がだんだん終活に近い年齢になってきてから気づき始めた。これを少し考え直さないといけないのではないか。

答 家庭できちんと歯磨き、歯の大切さ、そういうことを教えていくことがまず第一歩ではいのかと思っている。

フッ素洗口

問 小学校、中学校で全くフッ素をしていないが、今年の屋久島地域歯科口腔保健推進会議という保健所と歯医者、あと関係者20人ほどの会で、今年の重点取組事項として「乳幼児期から学齢期にフッ素洗口を取り組んでいきましょう」ということを掲げている。小学校、中学校はまだ全然取り組んでないので、今から取り組めないか。

答 県内では一部の市町村のみ実施をされているところ。本町はもとより熊毛地区内の他市町についても、現在実施をしていないという状況。時代の傾向として、価値観の多様化から学校全体での予防接種をしなくなるなど、学校が主体となって全体での予防活動を実施する傾向がなくなってきたことから、フッ化物洗口についても学校全体で取り組むということは現段階においては考えていない。今後、虫歯予防の観点から、どのような形で対応していくのが望ましいのか、引き続き検討していきたい。



小中学校の施設整備

問 照明灯 LED 化移行の現状は。

答 大規模修繕等に併せ計画的に実施している。学校予算で独自に更新している学校もあるが、町としては、これまで八幡小体育館、金岳小学校舎、岳南中学校舎を整備し、令和 7 年度に安房中体育館を計画している。

問 照明灯 LED 化移行完了時期は。

答 2027 年末には、蛍光照明ランプの取り扱いができなくなる見込みと聞いていることから、2027 年末完了を目標に整備したい。

問 水筒持参登校児童生徒の割合とその理由は。

答 割合については、100%が 7 校、90%が 2 校、80%が 2 校、50%が 1 校で、水筒の内容物は、お茶、水、スポーツドリンク等。どこにでも水道施設が整備されているとは限らないため、ほとんどが熱中症対策のためとなっている。

問 夏場の対応として、冷却給水器を設置する考えはないか。

答 各学校から設置要望は受けていないが、今後要望があった場合には検討したい。現在、中央中には PTA 振興費と卒業記念で 2 台設置されている。

図書室の充実

問 学校図書室及び町図書室（宮之浦・尾之間）の新冊購入の実態は。

答 小中学校は令和 4 年度 1,005 冊、令和 5 年度 1,323 冊、令和 6 年度 1,425 冊で金額は 3 年間で 897 万円程度。2 ケ所の町図書室は購入図書が重複しないよう調整しており、令和 4 年度 716 冊、令和 5 年度 704 冊、令和 6 年度 1,194 冊で 3 カ年の金額は 356 万円である。

問 新冊増による内容充実を図るべきと考えるかどうか。

答 町図書室は令和 7 年度も 120 万円分を購入予定であり、学校図書も年々増えているところです。町民及び学校からの要望に応えられるよう、図書環境の充実が図られるよう努める。



防災の日の訓練結果は

問 5 月 29 日を「屋久島町防災の日」と制定したが、この日に合わせ訓練をした地区は何地区あったのか。

答 当日は楠川地区のみであったが、平日であった為別の日程で計画した地区もあり、最終的には 26 集落中 16 地区で、さまざまな形で実施された。

意 災害を受ける形態は、地域によってそれぞれの違いはあるが、全町的に行うことが町民の防災意識の高揚や連帯感に繋がる。

多目的交流センター（仮称）の進捗状況は

問 離島開発総合センター、宮之浦体育館の老朽化と、津波対策等避難所を兼ね備えた重要な施設である。令和 10 年秋の開業に向けて、隘路はないか。

答 BDO 方式が決定しており、現在業務委託によって実施方針や有効な財源の確保をする為の検討を行っている。

問 南部の旧庁舎跡地の利用計画も頓挫をしているが、北部の人たちは大きな期待を寄せている。粛々と計画どおりに進め、確実に完成を目指してほしい。

給食センターの統合は

問 現在、3 地区に共同調理場があり、1 か所に統合すると聞いているが具体的には。

答 宮之浦、東部、西部の 3 施設とも老朽化が進んでいることや、児童・生徒数の減少、調理人の人材確保が懸念されることから 1 ケ所に統合する計画である。

問 令和 10 年度完成を目指しているようだが、建設予定地等は検討されているのか。又、小瀬田中跡地は町有地でもあり、経費削減へも繋がると思うが。

答 給食は、調理してから 2 時間以内の喫食という原則があり、検討委員会では安房から小瀬田までの間を想定している。旧小瀬田中跡地と旧本庁舎（クリーンセンター）等が候補地として挙がったことは聞いている。

問 いずれにしても、条件の良いところを選定して頂き、予定している令和 10 年の完成を目指し、粛々と進めて頂きたい。

スクールバス



真辺 真紀 議員

問 スクールバスを利用する児童・生徒、その保護者等から改善を望む声があることを度々聞くが、教育委員会としてはどのように把握しているか。

答 その都度各学校から連絡を頂き、内容を確認した上でバス運行会社へ連絡をし、改善を図るよう求めてきた。しかしながら、いまだ改善に至らない問題も抱えている状況であるため、今後も業務委託契約書及び業務委託仕様書に基づき適切な運行が行われるよう、引き続き強く改善を求めていく。

問 あらゆるところからスクールバスの問題、苦情が聞こえてきて、これは放置するわけにはいけないと思った。その都度対処していただいても、根本的な解決には至らず現在に至っていると思うが、根本的な解決をするために具体的に考えられていることはあるか。

答 非常に不適切な対応をされているということも聞いている。業務委託仕様書の中に児童生徒に対する配慮という部分もあるので、委託先に示して、強く対応していきたい。

問 実態を把握する必要があるのではないかという観点から、教育委員会が主体となってアンケート調査を実施し、結果を分析した上でスクールバスのよりよい運営を目指す必要があると考えるがいかがか。

答 児童生徒及び保護者等にスクールバス利用に関するアンケート調査は行っていないところだが、そういった事実確認をしないとイケないでしょうし、安心、安全なスクールバスの運行状況を確認するという必要性があるので、早急にアンケート調査を実施したい。

問 以前、教育委員会で平成 30 年にしっかりしたアンケート調査をしていただいている。具体的な項目のアンケート調査をしていただいて、とても回収率がよかった。その集約した結果を見ていると、通学に関する問題点や、ニーズがどこにあるのかがはっきり分かる結果になっていた。そちらも参考にさせていただくと非常によいと思う。

答 スクールバスの運行範囲が変更されて以降、アンケート調査をしていないので、また以前のアンケート調査なども参考にしながら、また時期等も検討して実施したい。

請願・陳情

第 2 回定例会に提出された請願は 2 件でした。

全て総務文教常任委員会に付託

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引上げ、複式学級解消をはかるための 2026 年度政府予算に係る意見書採択の請願

・学校の働き方改革・長時間労働是税を実現するため、さらなる少人数学級の推進、加配教員の増など教職員定数改善を推進すること。等

国会で教職員の働き方について改定があったが、先生方には残業手当がない。実際は長時間労働となっている。関係者の要望というのは非常に切実だと理解をしている。

教職員の待遇改善が遅れているということもあって、近年非常に教職員になり手がいない状況で、このままの状態で行くと非常に将来日本の教育というのは心配される時代になるであろうと思う。そういう観点からしても今請願は理にかなっていると理解する。等の意見がありました。

総務文教常任委員会で採択、最終本会議→採択

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の

請願

・子どもたちのゆたかな学びを保障するため「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善にむけて、学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減すること。

学習指導要領の改定時には、時間数を減らすだけでなく、指導要領の見直しも検討しなければいけないと理解する。

不登校の子供が増えている要因として、カリキュラムの詰め込みもあげられる。今請願の趣旨を理解する。等の意見がありました。

総務文教常任委員会で採択、最終本会議→採択

令和 7 年第 3 回全員協議会 6 月 2 日

安房小学校プール改築工事 取り止め

教育総務課からの説明

安房小のプールについては、1 日当たり 40 立米、40 トンの漏水が確認をされたため、周囲に埋設されていた循環濾過水管の下のほうへの空洞化が懸念されることから、本年 1 月末から 3 月末にかけて、レーダー探査による地下空洞調査を行った。昨年 12 月の補正予算計上においても、空洞調査の結果次第では改築するかどうかの方針を決めることになる」と説明した。

今回の調査結果では、緩みや空洞の反応と玉石などの礫質の反応が非常に酷似していたので解析による判断が困難であることから、その精度を高めるため 5 月 2 日まで履行期間を延長し、サウンディング調査簡易貫入試験を実施した。委託業者からの結果報告では、地下空洞が生じている可能性は非常に低く、屋久島の地層の状況から漏水した水については自然浸透により排水されている可能性が高いため、地下空洞が生じにくい環境にあるとのこと。地下空洞が生じている可能性を排除され、改築が不要となったため改築から修繕への方転換により今回 1 億 2000 万円を減額する。

相良健一郎 児童が安全に授業を受けられるということが確保できているか。

教育総務課 今回の調査によって、空洞調査をしたきっかけがプールの周りのクラック。クラック等がひどく、また一部沈下も見られたので、そのために空洞調査を行った。クラックについても劣化による老朽化、あるいはまた緩んだ軟質層の長期的な沈下によって発生したものであるということだったので、今後は先生方をお願いして、クラック等の状況が進んでいるかどうかを見極めながら実施をしていきたい。場合によっては、また安房中を利用することも考えており、今年度については今のところ、昨年同様に使いたいと考えている。

中馬慎一郎 ほかの学校でも大体同じような年代になってきていると思うので、こういったことが出てきた場合の対策についての方針を課内で話し合われているか。

教育総務課 そういったケースが考えられると思うので、安房の場合は小中の連携で賄えるが、その辺りも今後考えていきたい。



安房小学校プール
総務文教常任委員会の現地視察



令和 7 年第 4 回全員協議会 8 月 12 日

尾之間支所跡地の 利活用事業の公募

政策推進課からの説明

尾之間支所庁舎跡地利活用事業については、医療法人観音会が、屋久島おじゃんせウエルネスセンター建設を計画していたが、安定経営が見込めないとの理由で、令和 7 年 1 月 30 日付けで、辞退届が提出され、受理した。

再公募をするにあたり、2 月末・6 月中旬に区長と面談し、現状の報告・事業に対する意見を聴取した。協議の結果、前回公募と同じ要領で、7 月 1 日から再公募（第 3 次）を行っている。現時点では問い合わせ等はなし。

- ①募集対象地：尾之間支所跡地（約 3,100㎡の内数）
- ②事業方式：事業用定期借地権の設定（10 ～ 30 年）
- ③募集内容：第 3 期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に適う事業
- ④事業者選定スケジュール

日程	内容
令和 7 年 7 月 1 日	募集要項配布（公告）
7 月 1 日～ 15 日	第 1 回 質疑書受付
7 月下旬	第 1 回 質疑に対する回答
第 1 回 質疑に対する回答	第 2 回 質疑書受付
8 月下旬	第 2 回 質疑に対する回答
9 月 1 日～ 19 日	応募書類受付
10 月初旬	第一次評価（書類評価）
10 月下旬	第二次評価（プレゼン・ヒアリング）
11 月初旬	優先交渉事業者決定
12 月	屋久島町議会（報告）

大角利成 庁舎を取り壊す時点からいろいろ議論し、地域の人たちは、あそこがなくなってしまったが、また活性化のため、南部地域のために町が活用するという期待をしている。町は、このとについて全く考えがない。民間任せということで、町としてどう活用しようかという議論をされていないのが非常に残念。中央公民館をあと何年か使うのであれば、政策推進課は事業調整をする課なので、教育委員会とよく協議をして、中央公民館の改修などをやっていただかないと住民は納得しないだろうと思う。そのことは強く要望しておきたい。

政策推進課 これまでの事業方式は公募待ちという形だった。尾之間支所跡地総合戦略、事業用地借地権とだんだん狭まってきているということもあり、尾之間支所跡地を第 3 期の総合戦略に応じた形で事業方式を限定せずに公募を受けて、その中で事前協議も行いながら、事業を進めていこうと思っている。

緒方健太 中央公民館ということで、他は分館ということになると思うが、尾之間で公民館の役割をしているのは上のほうが公民館としての体をなしていると理解している。中央公民館は危険な建物でもあるし、なるべく早く解体して欲しい。ネックとしては図書館の移動等々あると思うが、できない理由を盾にしてやっていかないというのは、かなり問題だと思う。今後、尾之間支所庁舎跡地周辺を総合的に活用するのであれば、下の保健センターも含めてしっかり考えていただきたい。



現尾之間支所庁舎跡地 奥は尾之間公民館

種子島屋久島議員大会 8 月 8 日 鹿児島市

今年度は、鹿児島市にて第 14 回種子島屋久島議員大会が開催されました。一市三町の議員が集まりました。

屋久島町からは、屋久島空港滑走路延長事業の早期完了に関する要望を提案し、採択されました。

1. 本事業に係る確実な予算を確保すること。
2. 物価高騰に対応した予算の拡大と早期完成に向けた取り組みを行うこと。

共同提案で、有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域の維持に関する特別措置法に関する要望が提案され、採択されました。

1. 有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域の地域社会の維持に関する特別措置法の期限を延長すること。
2. 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金事業の予算確保と地元負担割合の縮減を図ること。
3. 航路、航空路における運賃の低廉化や物資等の費用負担軽減に対する支援策の拡充と財政措置の充実強化を図ること。

※平成 29 年 4 月に施行された有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域の地域社会の維持に関する措置法（議員立法による時限立法）は、令和 9 年 3 月 31 日をもって 10 年の期限を迎える。



議員大会会場の様子

動画でチェック

本会議の様子を動画で観ることができます

6 月 9 日



6 月 20 日



町民の声

- ・字下げについて、形式が混在している箇所が複数あり、ご指摘をいただきました。
- ・P2 のプロポーザル方式、P3 の TPP 事業の PFI 方式、P12 の巡回型通級指導教室の説明が欲しい。
- ・他、具体的なご指摘を複数いただきました。

字下げについて正確に編集し、わかりにくい用語や事業については解説を併記するなど、読みやすい紙面になるように改善していけたらと思います。貴重なご指摘をありがとうございました。



9月30日で屋久島町議会議員の任期が満了になるため、9月に議員選挙が行われることから8月に定例会が開かれました。27日の最終本会議あとに、記念撮影をしました。

議会の動向

日付	内容
6 25	屋久島観光協会定時総会（離島開発総合センター）
7 9	第1回熊毛地区消防組合議会臨時会（西之表市）
	種子島屋久島議会議員大会に係る議長会（ 〃 ）
14	屋久島町観光推進事業実行委員会総会
30	廃棄物処理施設工事火入れ式（クリーンサポートセンター）
8 2	屋久島ご神山祭り神事（火之上山埠頭）
7	市町村政研修会（鹿児島市）
8	熊毛郡町議会議長会臨時総会（鹿児島市）
	第14回種子島屋久島議会議員大会（ 〃 ）
12	議会運営委員会、全員協議会
18	令和7年第3回定例会開会

編集後記

議会だより71号の発行を持ちまして、現編集委員4名での編集が最後となりました。できる限り読みやすい紙面をお届けできるように、工夫してきました。まだまだ課題は残されていますが、議員の任期満了になりましたので、次にバトンタッチしたいと思います。引き続き、議会だよりへのご意見や、ご感想などをお寄せいただきますようお願いいたします。4年間、本当にありがとうございました。

真辺真紀、渡邊千護、中馬慎一郎、内田正喜

ご意見募集

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。

生活のお困りごとや、町政への提言、取材の申し込み等、以下の方法によりご連絡ください。ご氏名、ご住所、ご連絡先、ご意見等の内容が分かるようお願いいたします。

郵送：〒891-4207 屋久島町小瀬田 849 番地 20

メール：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp

議会を傍聴しませんか

次回定例会は改選後の12月に開会します。

通常、定例会は、3月、6月、9月、12月に開会されますが、今回の9月定例会は、任期満了による議員選挙が9月16日に告示、21日が投開票日になっていることから、8月に開会しました。